

施策の進捗管理シート

令和 7 年度

総合 体系 計画	分野	2	第 2 章	災害に強く、安心して利便性が高い暮らしが実感できるまち	施策統括課	生活安全課
	施策No.	3	施策名	地域で守る生活者の安全確保	課長名 (施策統括責任)	中島 勇生
	関係課	交通政策課 道路整備課 道路管理課 生活安全課 学事課				

1. 施策の目標

めざす姿 (成果目標)	市民は、日常生活において事故・事件に巻き込まれることなく、安心して生活を送っている。
取組方針	空き巣や窃盗等の犯罪対策に加え、近年、社会問題となっている子どもや女性、高齢者等を対象とした犯罪対策にも力を入れ、地域と一体となって防犯対策に取り組みます。交通安全については、啓発や施設整備等を推進します。また、契約や商品・サービスに関わるトラブルについては、周知・啓発による未然防止や相談体制の充実を図ります。

2. 施策の意図と成果指標

対象（誰、何を対象としているのか）*人や自然資源等	市民					
意図（この施策によって対象をどう変えるのか）	佐賀市民及び来街者を防犯対策、交通安全の推進、消費者としての安全を確保する。					
成果指標 A	単位					
地域で、事故・事件にあつことなく安全に暮らせると感じる市民の割合	%					
H30 基準	R1 計画実績	R2 計画実績	R3 計画実績	R4 計画実績	R5 計画実績	R6 目標実績
87.9	88.3 88.6	88.6 88.4	89.0 86.5	89.3 87.2	89.7 88.8	90.0 91.8
成果指標 B	単位					
犯罪率（人口10万人当たりの犯罪件数）	件					
H30 基準	R1 計画実績	R2 計画実績	R3 計画実績	R4 計画実績	R5 計画実績	R6 目標実績
559	549 493	538 457	528 438	518 409	507 539	497 586
成果指標 C	単位					
人身交通事故発生率（人口10万人当たりの人身交通事故件数）	件					
H30 基準	R1 計画実績	R2 計画実績	R3 計画実績	R4 計画実績	R5 計画実績	R6 目標実績
800	761 737	674 578	596 561	528 469	467 495	413 422

3. 市民意向調査結果

施策の重要度	前回	今回	
重要である	55.9%	59.5%	↑
ある程度重要である	38.3%	34.8%	↓
あまり重要ではない	2.0%	3.6%	↑
重要ではない	0.0%	0.4%	↑
順位	5/36位	5/36位	→

施策の満足度	前回	今回	
満足している	3.9%	5.8%	↑
どちらかといえば満足	50.5%	53.5%	↑
どちらかといえば不満	29.2%	25.7%	↓
不満である	3.1%	3.8%	↑
順位	9/36位	11/36位	↓

4. これまでの取組・成果

- ・「防犯対策の充実」については、警察や関係機関と連携しながら防犯講座や街頭キャンペーン等の啓発活動をとおして市民の防犯意識の向上に取り組んだ。また、自動販売機の収益を活用した防犯カメラ設置プロジェクトに参画し、繁華街の防犯カメラ設置に取り組むなど環境整備を行い、犯罪の未然防止や犯罪発生時の捜査、立証にも貢献した。
- ・「交通安全の推進」については、警察をはじめとする関係機関・団体と協力しながら、街頭指導・街頭キャンペーン及び年齢に応じた交通安全教室等の啓発活動を継続的に実施し、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けることにより、広く市民の交通安全意識の高揚を図ることができた。
- ・「消費者の安全確保」については、消費生活に関する知識の普及及び情報の提供、消費生活センターの周知を図るための市民向けの啓発事業の実施した。また、消費生活センターに消費生活相談員を配置し、消費生活苦情相談の受付・処理を行うとともに、法的見解が求められる案件に対応するために、弁護士無料法律相談を実施した。

5. 指標の達成状況に関する分析

- ・「地域で、事故・事件に遭うことなく安全に暮らせると感じる市民の割合」については、ニュース等で報じられるような凶悪犯罪や大事故等が身近でほとんど発生していないため、安心して暮らせていると感じている人が多いのではないかと思料する。
- ・「犯罪率（人口10万人当たりの犯罪件数）」については、新型コロナの行動制限解除による人流の増加と併せて全国的な二セ電話詐欺やSNS型投資詐欺の増加により、市内の刑法犯認知件数も大幅に増加し、目標値を達成することができなかった。
- ・「人身交通事故発生率（人口10万人当たりの人身交通事故件数）」については、新型コロナ感染症の拡大に伴う外出自粛及び行動制限解除などにより、年ごとに事故件数の増減はあったが、交通安全教室等の各種啓発活動の継続的な取組による市民の交通安全意識の高まりもあり、目標値達成までには至らなかったが、長期的には大幅な減少を記録することができた。

6. 今後の方向性（第3次佐賀市総合計画への反映など）

- ・「防犯対策の充実」については、基本的にはこれまでの取組を継続しつつ、犯罪情勢も日々変化していることから今後も警察等関係機関と連携し、地域の防犯活動の支援や詐欺被害などの犯罪を未然に防ぐ取組の強化を推進していく。
- ・「交通安全の推進」については、人身交通事故発生件数は年々減少しているが、今後も警察をはじめとする関係機関・団体と連携しながら、さらなる交通ルールの遵守や交通マナーの向上を図るため街頭指導や交通安全教育等の啓発活動及び交通安全対策の充実を推進していく。
- ・「消費者の安全確保」については、基本的にこれまでの取組を維持し、今後も消費者トラブルに関する情報発信や講座等による啓発や、地域や関係機関等と連携した高齢者の見守りの推進を行う。